

科目名 日常生活援助技術 I	配当時期 1年次前期	講義担当者	
時間割表記名 日常生活援助技術 I (環境)(活動・休息)	単位数 1単位 時間数 30時間(16回)	(実務経験のある教員)	
事前学習内容 演習前には技術の動画を視聴する。 ベッドメイキングの演習前には、テキストと動画を活用しながら、技術の根拠を含めた手順をレポートにまとめる。 車椅子移乗の演習前には、テキストと動画を活用しながら、車椅子部位の名称等を含め点検内容をレポートにまとめる。			
授業目標 1. 対象における環境の意義を理解し、その調整のための技術を実践できる。 2. 人間にとっての活動および休息の機能を理解し、それぞれに関わる援助技術を実践できる。			
DPとの関連 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。 DP5. 自己を理解し、他者を尊重したうえで、人間関係を構築することができる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	療養生活の環境 1)人と環境 2)療養生活と環境 3)生活環境の調整	講義	テキスト①②資料
2	病室の環境のアセスメントと調整 1)病室・病床の選択 2)湿度・温度 3)光と音 4)病棟の構造、病床の種類、寝床に必要な条件、病床としての寝床	講義 グループ学習	テキスト①②資料
3	援助の実際 1)ベッド周囲の環境整備 2)療養環境におけるインシデント 【環境整備】	講義 演習	テキスト①②資料
4	ベッドメイキング	講義	テキスト①②資料
5	【リネンの種類とそのたたみ方、下シーツの作り方・包布を使用した上掛けの作り方・枕カバーの装着】 【看護師1名でのベッドメイキング(*技術試験)】	演習(技術)	
6	臥床患者のシーツ交換	演習(技術)	テキスト①②資料
7	【看護師2名での臥床患者のシーツ交換】		

8	<p>活動の意義</p> <p>対象における姿勢・体位の意義や充足のための援助技術</p> <p>1) 姿勢、動作、作業域、ボディメカニクス</p> <p>2) 基本的な体位、良肢位</p> <p>3) 同一体位による影響(苦痛、関節拘縮・変形、循環障害・神経麻痺、褥瘡)の予防</p>	講義	テキスト①②資料
9	<p>対象における活動、移動の実際</p> <p>【①水平移動②仰臥位から側臥位③仰臥位から長座位④長座位から端座位】</p>	演習(技術)	テキスト①②資料
10	<p>対象における活動、移動の援助技術</p> <p>1) 移乗・移送の援助の基礎知識</p> <p>2) 車椅子とストレッチャーの安全点検</p> <p>3) 車椅子およびストレッチャーを用いた移乗・移送の援助</p>	講義	テキスト①②資料
11	<p>対象における活動、移動の実際</p>	演習(技術)	テキスト①②資料
12	<p>【①車椅子への移乗・移送、点検②ストレッチャーへの移乗・移送③スライダー(シート・担架)を利用した移動】</p>		* 11 回目 45 分
13	<p>休息の意義</p> <p>睡眠と休息の援助</p> <p>1) 睡眠の生理</p> <p>2) サーカディアンリズムとは</p> <p>3) 生活リズムを整える必要性とその援助</p>	講義	テキスト①②資料
14	技術試験(ベッドメイキング)	試験(技術)	
15	技術試験(車椅子への移乗・移送)	試験(技術)	
16	筆記試験(45分)	試験(筆記)	
<p>受講上の注意</p> <p>○技術が習得できるように各自で練習を行う。</p> <p>○事前・事後学習をきちんと行う。</p>			<p>評価方法</p> <p>技術試験</p> <p>筆記試験</p> <p>課題</p>
<p>使用するテキスト</p> <p>①系統看護学講座 専門分野 基礎看護学〔3〕 基礎看護技術Ⅱ 医学書院</p> <p>②看護がみえる 1 基礎看護技術 メディックメディア</p> <p>参考文献</p> <p>①根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院</p> <p>②系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 医学書院</p> <p>③看護形態機能学 第4版 日本看護協会出版会</p>			